



3月号

横浜市立中田小学校 学校だより

第447号



中 田 小	学 校 教 育 目 標 さわやか笑顔中田っ子 思い合い ひびきあい 共に生きる力を育てます。
平成30年2月28日	中田小ホームページ http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nakada/



潜為人耕

校長 蒲谷 猛

『春が来た』

作詞：高野辰之
作曲：岡野貞一

春が来た 春が来た
どこに来た

山に来た 里に来た
野にも来た

花がさく 花がさく
どこにさく

山にさく 里にさく
野にもさく

鳥がなく 鳥がなく
どこでなく

山でなく 里でなく
野でもなく



「潜為人耕」－ ある自治会館に掲げられている立派な書額のこの文字、会館におうかがいする度に、なんと読むのかな、どういう意味なんだろうと気になっていたの、調べてみました。読み方は、「潜（ひそ）かに人の為に耕す」。意味は、「老人や病人であるなど、自分で耕すことのできない人のために、ひそかに耕作すること。転じて、隠れて善を行なうこと。」だそうです。何をすれば人の役に立つのかどうしたら笑顔になってくれるだろうと、今、自分のできることを探し、実行する。こうありたいと思う一方、なかなか容易なことではないなど、この言葉の深さに思いを巡らせました。

2月になってから、12～13人ほどの6年生を校長室に招いて、順次、卒業前の会食会をしています。会食の時の話題の一つとして、「中学進学にあたって楽しみにしていることは何か。」を全員に聞いています。まさに十人十色、様々な言葉を返してくれますが、そのなかに「小学校（6年時）は最高学年だったけど、中学校に行ったら1年生になることです。」と話してくれた児童がいました。本人の真意とは違っている面もあるかもしれませんが、この言葉からは、今年一年間、最高学年である6年生として、いろいろな場面で「潜為人耕」を心がけてきた努力や苦労が伝わってきます。「一年間一生懸命やってきたからさ、来年は少しはほっとしたいんだよ。」というところでしょうか。結構大変だったんだぜという本音とともにやりきった自負も感じられて、何だかほっこりしてしまいました。

そんな6年生もまもなく本校を巣立っていきます。「人のために自分のできることを」という思いを下学年がしっかりと受け継いでいてほしいと願っています。

今年度も最終の月となりました。2月27日に行いました。学校評価報告会で、皆様にご協力いただいたアンケートや日頃お寄せいただいている声からとらえた、今年度の取組の成果や課題をお話しさせていただきました。次年度の教育活動の充実にしっかりと反映させていきたいと思っております。一年間、本校教育活動にご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。